

**令和4年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和4年12月
海老名市立有鹿小学校**

令和4年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

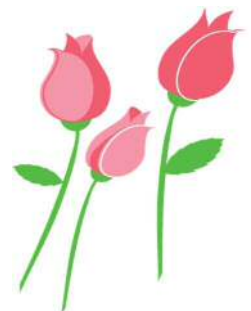
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的でできている点

- 物語を読んで物語の全体像を想像したり表現の効果を考えたりする問題では、人物像や物語の全体像を具体的に想像することがよくできていました。

- ・物語を推薦する理由として前向きな気持ちになることを踏まえ、この物語から伝わってくることを考える
- ・物語の登場人物の相互関係や人物像から物語の全体像を具体的に想像し、物語から伝わってくることをまとめる
- ・10字以上、30字以内で書く

◆課題のある点

- 文章に対する感想や意見を伝え合い、文書のよいところを見付ける問題では、複数の条件に合わせた文章を書くということに課題が見られました。

- ・聞いたことや経験したことをもとにして文章を書く
- ・自分の考えを具体的に書く
- ・言葉や文を引用して自分の考えを書く

- 次の漢字を書く問題では、正答率が全国に比べ低く、無解答率も高かったことから、漢字の習熟に課題があることが分かりました。

- ・親しむ

今後の具体的な指導改善のポイント

「問題の意図に合わせて自分の考えを文章で書く力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、自分の考えを書く学習を取り入れていきます。	相手や目的を意識して、自分の考えを理由や事例と合わせて書く学習を取り入れていきます。	目的や意図に応じて、分類したり関係付けたりして自分の考えを明確にして書く学習を取り入れていきます。
○作文や日記を書くなど、日常的に書くことへ慣れ親しむ。	○主語と述語の関係を理解し、理由を示す表現を使って書く。	○目的や意図に応じて書き表し方を工夫して書く。
○テーマを設定するなどして、伝えたいことを明確にして書く。	○キーワードとなる語句を使用して書く。	○事実と感想、意見との関係を十分捉えて書く。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

○コンピュータを用いて図形を作図する問題では、次のような設問によく答えることができていました。

- ・正三角形を作図するプログラムを正三角形の3つの角の大きさがすべて 60° になることを基に、回転する角の大きさに着目し、誤ったプログラムを正しいプログラムに修正する方法を説明する
- ・長方形を作図するプログラムを長方形の2組の向かい合う辺の長さがそれぞれ等しいことを基に、プログラムを完成させるために必要な長さを考える

◆課題のある点

○飲み物に含まれている果汁の割合を求める問題では、量が $\frac{1}{2}$ になると果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になると捉える児童が多く、数量と割合の関係を正しく捉えることに課題が見られました。

- ・果汁が20%含まれている飲み物の量を半分にしたときの果汁の割合について正しいものを選ぶ

○ケーキ1個の値段と21個セットの値段を比べる問題では、目的に応じた概数で捉えることに課題が見られました。

- ・ 85×21 の答えが1470より大きくなることを見積りによって確かめるために、85と21をどのような概数で計算するかを選ぶ

今後の具体的な指導改善のポイント

「日常生活の具体的な場面に生かす力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
日常生活の問題を具体物などを用いて考える学習を取り入れていきます。 ○学習したことを日常生活の中で活用する。 ○テープ図や数直線などを使い、考える。	日常生活から算数の問題を見付けて考える学習を取り入れていきます。 ○日常生活の出来事を算数の学習と結び付けて考える。 ○身近な題材を問題づくりに取り組む。	日常生活の中で算数の学習を進んで活用しようとする学習を取り入れていきます。 ○日常生活の問題を算数を活用して解決する。 ○日常生活で算数の学習を利用するよさを実感する。

小学校 理科

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○観察したことをまとめる問題では、次のような設問によく答えることができていました。

- ・ナナホシtentウを観察し、育ち方の順序をまとめた文章に蛹になることを追加して観察記録を整理する
- ・冬の朝、鉄棒に水滴や氷が付着していた現象を観察し、まとめた文章に気温によって水蒸気に変化していることを答える

○次の実験で計量に使用する器具の名称を答える問題では、よく答えることができていました。

- ・メスシリンダー

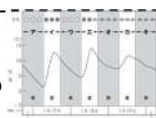
◆課題のある点

○凍った水溶液の現象の問題では、試したいことから「問い」を見いだすことに課題が見られました。

- ・砂糖水ではない他の水溶液を凍らせた物でも同じ現象が起こるか試してみたいということに基づき、新たな「問い」を見いだす

○冬の気温の変化を天気と関連付けて考える問題では、記録の結果を表したグラフのどの特徴を分析すれば結論を導きだせるかを見付けることに課題が見られました。

- ・右のグラフから「冬の晴れた夜は気温が下がる」という特徴を見付ける



今後の具体的な指導改善のポイント

「自ら疑問を見付け、解決方法を考える力」を伸ばすために、次のように取り組めます。

低学年	中学年	高学年
知的好奇心を大切にし、気になったことを調べて解決する学習を取り入れていきます。	比べたり、生活経験を基にしたりして問題を見付けたり、予想を考えたりする学習を取り入れていきます。	予想や仮説を基にして、解決方法を考える学習を取り入れていきます。
○疑問に感じたことがあれば、すぐに調べる。	○差異点や共通点から問題を見付ける。	○実験方法を考え、解決の見通しをもつ。
○調べて解決するという学習経験を繰り返し経験する。	○理由を明確にして予想や仮説を考える。	○実験結果を考察し、新たな疑問をもつ。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」

【結果】

「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均と比べ、かなり高い結果となりました。

【分かること】

昨年度は課題となった質問でしたが、全職員で検討を行い、学習内容の改善に取り組んできたことが、児童の学習過程を充実させています。

◆本校の課題と思われるところ

- 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」

【結果】

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均と比べて少なく、「当てはまらない」と回答した児童の割合が全国平均と比べて多い結果となりました。

【分かること】

算数の問題解決の過程を改善し、学習した内容を生活に生かせるようにする必要があります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」

【結果】

「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、かなり高い結果となりました。

【分かること】

教職員に相談しやすい児童が多く、安心して生活していることが伺えます。「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童には積極的に関わるように支援していく必要があります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」

【結果】

「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、かなり低い結果となりました。

【分かること】

失敗を恐れなくて挑戦することに苦手意識をもつ児童が多いことが分かりました。様々なことに対して挑戦できるように、活動への見通しをもたせたり、取組の過程を評価したりしながら支援していく必要があります。

今後の具体的な取組について

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する力」を伸ばすために、次のように取り組めます。

低学年	中学年	高学年
進んで挑戦する体験ができる機会を取り入れていきます。	挑戦していることに対して振り返る機会を取り入れていきます。	挑戦することで得られた達成感を実感する機会を取り入れていきます。
○挑戦することのよさを知ったり、失敗を共感的に受け止めてもらったりする。 ○取組の過程を評価してもらう。	○取組を見つめ直し、取組状況を評価する。 ○継続的に挑戦することで自身の変化を感じる。	○達成感を実感できるように取組の積み重ねを記録する。 ○さらに達成感を感じられるように、次の挑戦にも取り組む。

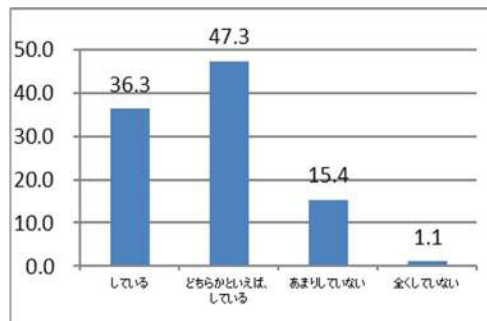
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

規則正しい生活を送り 睡眠の質を上げましょう

毎日の生活リズムを整えることで、質のよい睡眠をとることができます。質の高い睡眠は、学習の効果を高めるだけでなく、心身の成長や意欲の向上につながります。

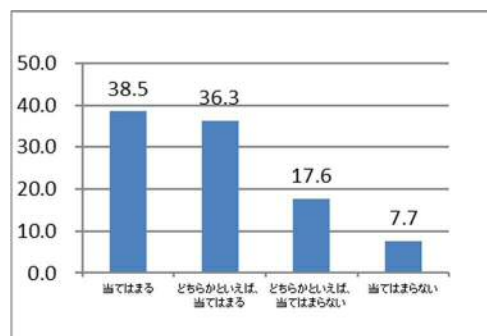


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2

たくさんの本に親しみ、 読書を楽しみましょう

読書は集中力を養ったり、語彙力が高まったりします。また、読解力や想像力も身に付き、コミュニケーション能力や社会性の向上など人間関係を築く能力も高めてくれます。

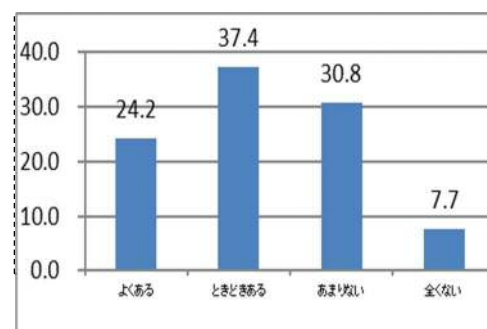


読書は好きですか

3

自然の中での体験を たくさんしましょう

自然体験活動は、探究心を育み課題解決能力が高まったり、豊かな心が育まれ人間性を育成したりします。また、意欲や関心、規範意識などが高い傾向が見られます。

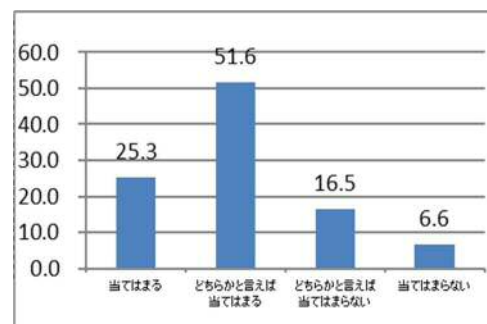


自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか

4

自分に必要なことを考え、 取り組む習慣をつけましょう

自分で目標を設定したり、自分で取り組み方を決めたりすることは、成果に対して責任と誇りを持ちやすくなり、達成感や自尊心により幸福感が高まることにつながります。



学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係